

テープドライブ／テープメディアの互換性

一般社団法人 電子情報技術産業協会
情報・産業社会システム部会
技術企画・標準委員会
テープストレージ専門委員会

2013年6月

テープドライブ／テープメディアの互換性

テープシステムの目的が、「バックアップ」から「アーカイブ」に広がってきている現状では、過去のテープが新しい世代のドライブでもリード(読み取り)出来るかどうか、大きな関心事となってきています。

例えば、ミッドレンジクラスで、もっとも一般的になっている‘LTO’の場合には、どの世代のドライブでも1世代前のテープは、「リード/ライト可」、2世代前のテープは「リードのみ可」と、仕様が決まっており、比較的分かり易いのですが、規格によっては分かりにくいものもあり、メーカーに問合せされるケースも多々あるようです。

以下は、代表的な規格である「LTO」、「DLT/SDLT系」、「DDS/DAT系」の互換表です。ただし、お持ちの過去のテープが実際にリード出来るかは、記録された時の仕様環境(ハードウェアやソフトウェア等)も関係するので、以下の表はあくまでも参考としてご覧下さい。

なお、本文および表中の製品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。

《LTO ドライブ・テープ》

メディア \ ドライブ	LTO Ultrium 1	LTO Ultrium 2	LTO Ultrium 3	LTO Ultrium 4	LTO Ultrium 5	LTO Ultrium 6
Ultrium 1 (100/200GB)	○	○	△	×	×	×
Ultrium 2 (200/400GB)	×	○	○	△	×	×
Ultrium 3 (400/800GB)	×	×	○	○	△	×
Ultrium 4 (800/1600GB)	×	×	×	○	○	△
Ultrium 5 (1500/3000GB)	×	×	×	×	○	○
Ultrium 6 (2500/6250GB)	×	×	×	×	×	○

()内の数値は、非圧縮時/2:1圧縮想定時の容量。ただしLTO6のみ2.5:1の圧縮比を想定
 ○:リード/ライトともに可能、△:リードのみ可能、×:使用不可

(2013年6月現在)

《DDS/DAT ドライブ・テープ》

ドライブ メディア(容量*1)	DDS1	DDS2	DDS3	DDS4	DAT72	DAT160	DAT320
DDS1テープ (2/4GB)	○	○	○	○*2	×	×	×
DDS2テープ (4/8GB)	×	○	○	○*2	×	×	×
DDS3テープ (12/24GB)	×	×	○	○	○	×	×
DDS4テープ (20/40GB)	×	×	×	○	○	○	×
DAT72テープ (36/72GB)	×	×	×	×	○	○	×
DAT160テープ (80/160GB)	×	×	×	×	×	○	○
DAT320テープ (160/320GB)	×	×	×	×	×	×	○

○:リード/ライトともに可能、△:リードのみ可能、X:使用不可

*1(非圧縮時/圧縮時) *2:ドライブにより異なります

(2013年6月現在)

《DLT系ドライブ・テープ》

○:リード/ライトともに可能、△:リードのみ可能、×:使用不可

ドライブ メディア	DLT 2000	DLT 2000XT	DLT 4000	DLT 7000	DLT 8000	DLT VS80 /DLT1	DLT VS160	DLT-V4
DLTtape III	○ 10GB	○ 10GB	○ 10GB	○ 10GB	○ 10GB	×	×	×
DLTtape IIIXT	×	○ 15GB	○ 15GB	○ 15GB	○ 15GB	×	×	×
DLTtape IV	×	×	○ 20GB	○ 35GB	○ 40GB	○*1 40GB	×	△*2
DLTtape VSI	×	×	×	×	×	×	○ 80GB	○*3 160GB

ドライブ メディア	SDLT 220	SDLT 320	SDLT 600	DLT-S4
DLTtape IV	△	△	×	×
DLTtape VSI	×	×	△*4	×
Super DLTtape I	○ 110GB	○ 160GB	△	△*5
Super DLTtape II	×	×	○ 300GB	△
DLTtape S4	×	×	×	○ 800GB

* 表中の容量は非圧縮時

*1: DLT4000フォーマットはリードのみ可、DLT7000/8000フォーマットは不可

*2: DLT VS80/DLT1フォーマットのみ

*3: DLT VS160フォーマットはリードのみ可

*4: DLT VS160フォーマットのみ

*5: SDLT320フォーマットのみ

(2013年6月現在)